



平成19年4月25日

国土交通省 道路局長 様

三郷町長 秋田 新平



中期的な計画作成にあたっての意見について

平素は、道路行政に関し何かとご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。  
さて、先日ご来庁いただいた際に依頼のありました「道路整備に係る中期的な計画」策定にあたり、今後の道路政策や道路の整備・管理に関する意見ではありますが、5月8日に当町へ再訪いただく旨をお聞きしておりましたが、意見集約ができましたので、別紙のとおり送付致します。

よろしくお取りはからいいただきますようお願い致します。

## 「今後の道路政策や道路の整備・管理」に関する意見

### 1. 重点化を進める上で、特に優先度の高い政策

道路政策全般で考えた場合の優先度の高い政策としては、今日の我が国が抱える諸問題（例えば、経済面での国際競争が激化する中での物流基幹道路ネットワークの構築や、高度医療施設等への迅速な搬送を可能とする広域基幹道路の整備など）を解消するための道路整備政策は、欠くことのできないものである。

また、地震大国である我が国が直面する問題として、震災等の災害発生時において、人命救助に不可欠な道路インフラの整備も重要であると考えている。

しかしながら、地方での道路整備でも同じ事が言えるが、かなり以前に「中・長期ビジョン」により策定された道路整備計画で、未だ未着手の計画の中には、社会経済状況の変化などにより、将来的展望も含め整備の必要性や重要度が大きく変化しているケースも存在すると推測される。このことから、策定済みの道路整備計画にあっても、再度、検討見直しが必要であり、今後の道路政策を検討する上では、今日だけでなく将来的展望も含め、検討すべきである。

また、道路整備事業の推進に際し、地域住民の声を聞くことも大切であるが、ややもすると必要性以上に住民の要望が大きく、その「声」だけで計画が進行した事も過去にはあったと聞く。やはり、道路整備計画は、その必要度・優先度を客観的観点で多方面から検討を加えるとともに、各事業実施前の事前評価、事業効果も具体的に示すなど、特に必要性が高く・緊急性を伴う事業を取捨選択し、実施すべきであると考えている。

### 2. 効率化を徹底的に進める上で、重視すべきこと

前段でも記述したとおり、その必要性を十分に精査した上で、重点的な箇所限定して道路整備を行うことが、効率化を進めることにも繋がると考える。「あれも、これも…」ではなく、「あれか、これか」をキッチリと見極め、かつ、十分な事前評価による必要性・重要度を考慮することが、何よりも効率化を進める最大の項目だと思う。

### 3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

道路特定財源の見直しにより、道路整備計画の抜本的な見直しおよび中期計画が策定される中、国全体を捉えた主要事業については、先に記述したとおりであるが、主要幹線以外の地方自治体が整備・管理を行う道路については、地域の事情に即した具体的な道路整備計画をしっかりと見直す時期が到達している。また、既設道路の維持管理に係る経費に関しても、昨今の地方自治体を取り巻く財政事情は、年々、その厳しさを増している。

そのような中であっても、地域住民の生活に密着した行政主体として、より安全で安心して毎日を過ごせるよう、道路整備事業もその対策の一つでもあるのが、なかなか十分な財源を確保できているとは言えないのが、現状である。

無論、譲与税・交付金が道路財源として、各自治体に交付されているのは、十分に承知しているところであるが、維持管理経費等も含め、それらを上回る予算を必要としているのが現状である。

このことから、地方自治体が抱える財政的な面も踏まえ、現状に即した財源措置を講じていただけることを、節にお願いしたい。